

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科で冠動脈疾患に対する経皮的冠動脈インターベンションの治療歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第四講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

左前下行枝入口部病変に対する経皮的冠動脈インターベンションにおける左主幹部へのクロスオーバーステントの有無による臨床的および手技的転帰の比較

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学内科学第四講座 教授 田中 篤

3. 研究の目的

経皮的冠動脈インターベンションの治療成績比較（左冠動脈主幹部へのクロスオーバーステントと前下行枝入口部単独ステントでの心血管イベントの発生率の比較）およびイベントに関わる因子の同定

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

冠動脈疾患の患者さんで、2018 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までの期間中に、経皮的冠動脈インターベンションを受けた患者さんで、左冠動脈前下行枝の入口部病変に治療が必要だった方。

(2) 研究期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、2018 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までの性別、身長、体重、検査所見（血液検査、心電図、心エコー、冠動脈造影、血管内イメージング:血管内超音波・光干渉断層法）、内服中の薬、主要な心血管イベント(死亡、心筋梗塞、再血行再建)に関しての情報です。

(5) 方法

左冠動脈前下行枝の入口部の経皮的冠動脈インターベンション治療を行う際に、左冠動脈前下行枝のみにステント留置された場合と左冠動脈主幹部までステント留置された場合の主要な心血管イベントの発生率を比較します。また主要な心血管イベントの発生に関わる因子を解析します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

エジプト大使館文化教育科学局からの研究費により行います。
本研究と関わる利益相反はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学内科学第四講
担当者：塩野泰紹
住所：和歌山市紀三井寺 811-1
TEL：073-447-2300 FAX：073-446-0631
E-mail：yshiono@wakayama-med.ac.jp